



全国学力・学習状況調査の結果から②

今回は、6年生に対して行われた「児童質問紙」と、学校に対して行われた「学校質問紙」の結果から、小山田っ子の特徴（学習面・生活面）や本校の学校教育の取り組みについてまとめます。



【児童の学習や生活について～「児童質問紙」の結果より～】

① 学習面

「普段どれくらいの時間、読書をするか」について、「1時間以上する」と回答した割合が全国平均よりかなり高く、家庭で読書活動に取り組み、本に親しむ習慣がついているようです。

また、「先生は分かるまで教えてくれるか」「学級みんなで協力してやり遂げたことがあるか」について、肯定的な回答の割合が全国平均よりも高く、授業や学校生活において、教師を信頼して達成感のある活動に取り組んでいることがわかります。

一方、「失敗を恐れないで挑戦するか」「友だちの前で発表することが得意か」では肯定的な回答の割合が全国平均より低く、自ら積極的な行動を起こすことや、話し合い活動を苦手とする児童が多いようです。

また、「国語で、理由がわかるように考えを書くか」について、肯定的な回答の割合が低いことから、自分の考えを話したり書いたりするときには、理由をつけて表現することを意識するとよいと考えます。

② 生活面

「学校のきまりを守るか」「いじめはどんな理由があってもいけない」について、全員が肯定的な回答をしています。基本的なルールを真面目に守り、自他の人権を大切にする意識が育まれていると考えます。

「地域の行事に参加するか」について、ほぼ全員が肯定的な回答をしており、地域と深く関わりながら生活していることがわかります。祭りや運動会、文化祭など伝統的な行事が豊かに残る地域のよさがあります。

一方、「毎日、同じ時刻に起きているか」「朝食を毎日食べるか」について、否定的な回答をしている割合が全国平均よりやや高いことは気になるところです。早寝・早起き・朝ごはんを守り、基本的な生活リズムを整えることの大切さについて、保護者の皆様と共に考えながら実践していきたいと考えます。

【学校教育の取り組みについて～「学校質問紙」の結果より～】



① 平成28年度学力・学習状況調査について、全教員で自校採点を行いました

全教員が問題の傾向を把握し、児童の強みや課題について分析を行い、各学年での指導の重点や手立てについて考える機会を持ちました。また、夏季休業中に西陵中学校や水沢小学校と合同研修会を行い、調査の結果から見えてきた各校の成果と課題、子どもの実態や教育活動などについて情報交流を行いました。

② 調査の結果を踏まえた授業改善を実践しています

自分の考えを持って表現する活動につなぐために、全学年で書く活動に取り組んでいます。学び合いの授業づくりに重点を置き、ペアや少人数で話し合い、自分の意見を分かりやすく相手に伝えるためのコミュニケーション力を育てるよう取り組んでいます。学習に対する意欲、関心を高め、達成感を味わわせるために、発問や課題を工夫して、授業の始めに「めあて」を提示し、終わりには「振り返り」活動を行い、次時につなぐように指導しています。電子黒板などの機器や具体物を活用するなど指導の工夫をしています。

また、本年度は、主に算数科で複数名の教師による少人数教育（チーム・ティーチング）の研究を進めています。児童個々の課題に応じたよりきめ細かな指導ができるよう取り組んでいます。

③ 家庭と連携して、学習習慣の確立をめざします

『家庭学習の手引』を配布し、家庭学習の進め方について、学校と家庭との連携を図っています。

④ 小中学校の連携を図り、継続的な学びを進めています（中学校区「学びの一体化」）

中学校の先生による乗り入れ授業によって、子どもたちが中学校を身近に感じ、学習意欲が向上するよう取り組みました。小学校からは、夏季休業中に中学生の部活や補充学習の支援に参加しました。



校庭の木の剪定(せんてい)

～シルバー人材センターの皆さん、ありがとうございました～

10月8日（土）、14名の方にお世話になりました。

校庭の築山などの木をきれいにさせていただきました。



おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信 やったあ！ だいじょうぶ？



小山田小学校長

白組 優勝おめでとう！ 最後までやり切った運動会



学校公開日の10月14日（金）午前9時から、雨のためにやり残していた運動会の団体種目を行いました。2日間に渡る運動会は、私にとっても初めての経験でしたが、子どもたちは最後まで力を合わせて全力でやり切ってくれました。それを支えてくれた高学年の係児童の活躍も見事でした。結果は、団体戦、全校綱引きともにすべて白組の勝ちとなり、白組の大逆転優勝で幕を閉じました。白組のみなさん、おめでとうございます。そして、あきらめずに最後まで力いっぱい戦い、けんめいに応援を続けた赤組も立派でした。スローガンのとおり皆が「団結してやり切った」素晴らしい運動会だったと思います。この小山田っ子の団結する力を、芋煮会などの行事や日々の学校生活に活かしてほしいと思います。



保護者・地域の皆さま、ご声援ありがとうございました。

ボランティアって？ ～第2回 学校づくり協力者会議より～

右の写真は、10月14日（金）に校長室で行われた『第2回学校づくり協力者会議』の様子です。委員の皆さまから、次のようなご意見をいただきました。

- 小山田小は少人数なので、たてわり活動が盛んで、高学年が低学年を優しく気づかう姿が見られる。よい伝統をこれからも受け継いでほしい。
- 小山田っ子は、地域の美化活動や伝統文化を継承する活動などに参加する子が多く、地域と深く関わりながら生活していることはとてもよいことだ。ボランティアというと「人を助けること」のようなイメージがあるようだが、地域の行事や活動に関わる姿こそボランティアにつながるのだと考える。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」を守り、基本的な生活習慣を大切にほしい。



本校の学校栄養士 小林から、本市の学校給食の現状について説明を受ける委員の皆さま（10月14日）

携帯・スマホの正しい使い方 ～学校保健委員会・子どもの未来を語る会～



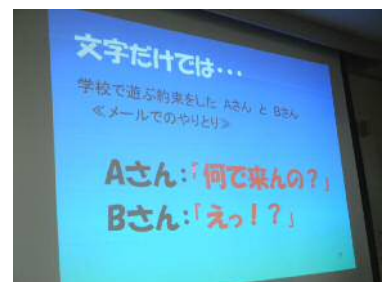
講師は、四日市市こども未来部 青少年育成室の藤田貴大さん

10月14日（金）の6限目、視聴覚室で「学校保健委員会」と「子どもの未来を語る会」を開催しました。6年生児童と保護者、地域の方、教職員などを対象に『携帯・スマホの正しい使い方』について学ぶ機会となりました。

学校保健委員会では、6年生保護者へのアンケート結果をもとに、子どもたちのインターネットの利用状況や保護者として心配していることがらなどについて、養護の濱田から報告をしました。

藤田先生からは、「携帯を持っていないと不安になりイライラする」ネット依存の問題や、寝不足が体の成長や成績に与える影響の大きさなどについて詳しいお話がありました。

また、便利なはずのメールのやりとりで、いじめなどトラブルにつながってしまった事例も紹介していただきました。



「何で来んの？」からいじめに…